（様式1）橋梁個別施設計画

施設名称	完成年度	管理主体	当該路線名 架橋河川(道路)名	造成事業	施設の場所	集落コード
金剛寺JR跨線橋	昭和54年度(1979)	彦根市	JR琵琶湖線	広域農道湖東地区	彦根市金剛寺町	

道路橋示方書	昭和47年度版	橋の等級(設計荷重)	1等橋	特記事項	緊急輸送道路指定(市)

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	250m		幅員(車道幅員)	8.0m(6.5m)
	施設の構造	上部工型式	鋼単純非合成桁(4主桁)　プレテンションPCT(9主桁)　12径間			
			鋼製(使用鋼材)	塗装使用の有無	支承形式	落橋防止の有無
				有り	タイプA	有り　H14道示
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	杭基礎
		橋脚工型式	ラーメン式橋脚・杭基礎		海岸からの距離	-
	計画策定目的	広域農道湖東地区によって整備され、彦根市が管理している金剛寺JR跨線橋は、40年以上経過している。金剛寺JR跨線橋は、昭和53年度版の道路橋示方書に準拠し設計されたものであり、現在の耐震基準に満たしていないため、平成28年度採択に農村地域防災減災事業（湖東広域地区）において耐震化対策を予定。その他保全対策として、鋼橋の塗装および伸縮装置の入れ替えは平成29年度採択の農地整備事業（湖東彦根地区）で対応予定。				
調査結果概要	現地調査	本橋梁は平成25年度に定期点検を行い、滋賀地区農道橋耐震調査計画業務その2により、平成26年度に橋梁診断が実施されている。また、平成28年度には湖東彦根地区保全対策整備計画策定業務において目視調査を行った結果、H26年度時点から大きな変状・損傷は確認されなかったが、平成30年度実施の橋梁点検では、鋼板巻立補強された橋脚の錆びの広がり及び新たな箇所を確認した。				
	詳細調査(点検)	・伸縮装置の劣化による交換が必要 ・鋼橋部分の塗装対策が必要 ・耐震化対策が必要				
	劣化原因(推定)	・耐用年数の経過によるものと推察される				
長寿命化対策概要	対策工法(案)	【老朽化対策】 ・伸縮装置の劣化による交換 ・鋼橋部分の塗装対策 【耐震化対策】 ・下部工の補強（再検討の予定）				
	対策時期(案)	【老朽化対策】 ・耐用年数の経過による劣化であり、早急に更新する必要が有るが、ＪＲ軌道敷内の工事であるため耐震化工事の施工スケジュールとの調整が必要。 【耐震化対策】 ・平成28年度採択の農村地域防災減災事業（湖東広域地区）で実施予定。				
	対策費用(参考)	【老朽化対策】 ・伸縮装置の交換　16,381千円(税抜き、直工)、・桁塗装　3,821千円(税抜き、直工) [県営事業：本市負担率：25%] 【耐震化対策】 ・工事費　418,500千円　　・測量試験費　20,000千円 [県営事業：本市負担率8%]				
管理方法	管理方法	老朽化対策として伸縮装置の交換及び桁塗装を早期に実施すると共に、併せて定期点検（1回/5年）を適切に行い、予防保全的な管理に努める。				

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	・・・
対策費用(長寿命化)(百万円)										
対策費用(更新)(百万円)										
対策の内容・時期	橋梁補修	定期点検 橋梁補修	橋梁補修 下部工耐震工事				定期点検			

長寿命化計画による効果

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の長寿命化・安全性が確保できる。
○予算平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な補修が可能となる。

■橋梁全景写真

A1 から

P5 から P6　（中央部）

A2 から（琵琶湖側）

A1 側（側径間）

P5 から P6　（中央部）

A2 側（側径間）

◇橋体

・P5~P6　鋼単純非合成桁　４主桁　　表面の塗装劣化（表面さび）

・Ｐ２~Ｐ３　　プレテンション PCT 桁　　９主桁　　問題なし

◇橋面状態

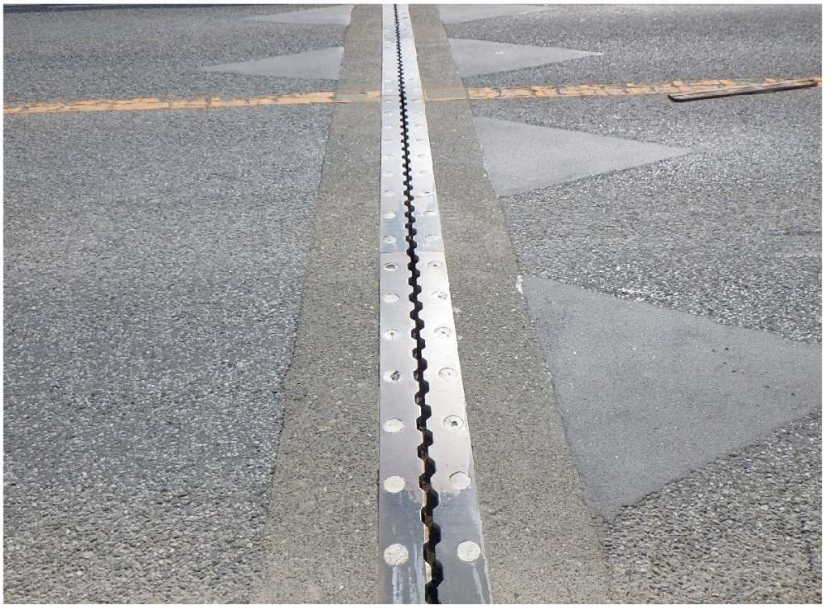
◇ＰＣとメタル間

舗装状態は良好、伸縮装置止水材の劣化　Ｐ６

◇ＰＣとＰＣの間

Ｐ１０

Ｐ９



（様式1）橋梁個別施設計画

施設名称	完成年度	管理主体	当該路線名 架橋河川(道路)名	造成事業	施設の場所	集落コード
雲川橋	昭和64年度(1989)	彦根市	雲川	広域農道湖東地区	彦根市日夏町	

道路橋示方書	昭和54年度版	橋の等級(設計荷重)	1等橋	特記事項	緊急輸送道路指定(市)

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.1m		幅員(車道幅員)	8.0m(6.5m)
	施設の構造	上部工型式	プレテンション単純床版桁(27主桁)　1径間			
			鋼製(使用鋼材)	塗装使用の有無	支承形式	落橋防止の有無
			－	－	タイプA	無し
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	杭基礎
		橋脚工型式	－		海岸からの距離	－
	計画策定目的	広域農道湖東地区によって整備され、彦根市が管理している雲川橋は、30年以上が経過している。雲川橋は、昭和54年度版の道路橋示方書に準拠し設計されたものであり、現在の耐震基準に満たしていないため、平成28年度採択の農村地域防災減災事業（湖東広域地区）において耐震化対策を予定。その他保全対策は不要。				
調査結果概要	現地調査	本橋梁は平成26年に定期点検を行い、滋賀地区農道橋耐震調査計画業務その2により、橋梁診断が実施されている。また、平成28年度には湖東彦根地区保全対策整備計画策定業務において目視調査を行った結果、H26年度時点から新たな変状・損傷は確認されなかった。				
	詳細調査(点検)	・耐震化対策が必要				
	劣化原因(推定)	ー				
長寿命化対策概要	対策工法(案)	【老朽化対策】 ー 【耐震化対策】 ・拘束装置設置				
	対策時期(案)	【老朽化対策】 ー 【耐震化対策】 ・平成28年度採択の農村地域防災減災事業（湖東広域地区）で実施予定。				
	対策費用(参考)	【老朽化対策】 ー 【耐震化対策】 ・工事費　11,700千円　　・測量試験費　2,000千円 [県営事業：本市負担率8%]				
管理方法	管理方法	定期点検（1回/5年）を適切に行い、予防保全的な管理に努める。				

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(長寿命化)(百万円)						11.7				
対策費用(更新)(百万円)										
対策の内容・時期	定期点検					定期点検 耐震工事				

長寿命化計画による効果

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の長寿命化・安全性が確保できる。
○予算平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な補修が可能となる。

■橋梁全景写真

流水方向　→　　手前 A1

上流から下流　　A2------A1

２．橋梁状況

橋体は健全な状態である。間詰めコンクリートからの漏水・遊離石灰等はみられない。特に問題なし。ただし、伸縮装置が入っていないため橋座に漏水が生じている。伸縮装置の設置が望ましい。

◇橋台（A1）　目地より漏水

(A2)　目地より漏水

伸縮装置　伸縮なし

転落防止柵

桁下

橋歴板

【参考様式-5】個別施設計画(橋梁)

施設名称	完成年度	管理主体	当該路線名 架橋河川(道路)名	造成事業	施設の場所	集落コード
宮前橋	昭和62年度(1987)	彦根市	安食川	広域農道湖東地区	彦根市須越町	

道路橋示方書	昭和56年度版	橋の等級(設計荷重)	1等橋	特記事項	緊急輸送道路指定(市)

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	35.5m		幅員(車道幅員)	8.0m(6.5m)
	施設の構造	上部工型式	ポストテンションT桁橋(5主桁)　1径間			
			鋼製(使用鋼材)	塗装使用の有無	支承形式	落橋防止の有無
			－	－	タイプA	無し
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	杭基礎
		橋脚工型式	－		海岸からの距離	－
	計画策定目的	広域農道湖東地区によって整備され、彦根市が管理している宮前橋は30年以上が経過している。宮前橋は、昭和56年度版の道路橋示方書に準拠し設計されたものであり、現在の耐震基準に満たしていないため、平成28年度採択の農村地域防災減災事業（湖東広域地区）において耐震化対策を実施済。その他保全対策については、舗装、高欄において小規模な損傷等は有るものの緊急性は低いため、補修等の時期は耐震化工事完了後に再点検し検討。				
調査結果概要	現地調査	本橋梁は、滋賀地区農道橋耐震調査計画業務により、平成25年度に橋梁診断が実施されている。また、平成28年度は湖東彦根地区保全対策整備計画策定業務、平成29年度、令和4年度には定期点検において目視調査を行った結果、H25年度時点から新たな変状・損傷は確認されなかった。				
	詳細調査(点検)	・橋面舗装部の一部にクラックあり ・高欄の塗装が剥脱(錆なし)			判定区分	
	劣化原因(推定)	・経年劣化と推察される				
長寿命化対策概要	対策工法(案)	【老朽化対策】 ・舗装修繕 ・高欄塗装 【耐震化対策】 ー				
	対策時期(案)	【老朽化対策】 ・現状は機能的な支障は生じていないため、緊急度は低く、経過観察とする。 【耐震化対策】実施済み 工事費　99,367千円　　測量試験費　2,284千円				
	対策費用(参考)	【老朽化対策】 ー 【耐震化対策】 工事費　99,367千円　　測量試験費　2,284千円				
管理方法	管理方法	定期点検（1回/5年）を適切に行い、予防保全的な管理に努める。				

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	・・・
対策費用(長寿命化)(百万円)										
対策費用(更新)(百万円)										
対策の内容・時期	定期点検					定期点検				

長寿命化計画による効果

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の長寿命化・安全性が確保できる。
○予算平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な補修が可能となる。

１．現地踏査記録

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>橋面</td><td>橋体</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>伸縮装置</td><td>支承</td></tr>
<tr><td> </td><td>
</td></tr>
<tr><td>転落防止策</td><td>橋歴板</td></tr>
</table>

（様式1）橋梁個別施設計画

施設名称	完成年度	管理主体	当該路線名 架橋河川(道路)名	造成事業	施設の場所	集落コード
磯田大橋	昭和62年度(1987)	彦根市	宇曽川	広域農道湖東地区	彦根市須越町・三津屋町	

道路橋示方書	昭和56年度版	橋の等級(設計荷重)	1等橋	特記事項	緊急輸送道路指定(市)

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	90.6m		幅員(車道幅員)	8.0m(6.5m)
	施設の構造	上部工型式	ポストテンションT桁橋(5主桁)　3径間			
			鋼製(使用鋼材)	塗装使用の有無	支承形式	落橋防止の有無
			－	－	タイプA	無し
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	杭基礎
		橋脚工型式	張出式橋脚		海岸からの距離	－
	計画策定目的	広域農道湖東地区によって整備され、彦根市が管理している磯田大橋は30年以上経過している。磯田大橋は、昭和56年度版の道路橋示方書に準拠し設計されたものであり、現在の耐震基準に満たしていないため、平成28年度採択の農村地域防災減災事業（湖東広域地区）において耐震化対策を予定。その他保全対策は現時点で不要。				
調査結果概要	現地調査	本橋梁は、滋賀地区農道橋耐震調査計画業務により、平成25年度に橋梁診断が実施されている。また、平成28年度には湖東彦根地区保全対策整備計画策定業務において目視調査を行った結果、平成25年度時点から新たな変状・損傷は確認されなかったが、平成30年度実施の橋梁点検では、伸縮装置の劣化による浸入水の影響によるアンカーボルトの摩耗を確認した。				
	詳細調査(点検)	・伸縮装置の劣化による交換が必要 ・~~耐震化対策が必要~~（落橋防止対策 実施済）				
	劣化原因(推定)	・耐用年数の経過によるものと推察される				
長寿命化対策概要	対策工法(案)	【老朽化対策】 ・伸縮装置の劣化による交換 【耐震化対策】 ・落橋防止				
	対策時期(案)	【老朽化対策】 ・耐震補強工事の実施により落橋の危険性は低いが、現在実施の「湖東彦根地区」（平成34年度完了予定）において伸縮装置の交換を検討。※事業実施主体の滋賀県との調整が必要 【耐震化対策】 ・平成30年度（落橋防止対策 実施済）				
	対策費用(参考)	【老朽化対策】 ・伸縮装置の交換　5,040千円(税抜き、直工)　[県営事業：本市負担率25%] 【耐震化対策】 ・工事費　173,000千円　[県営事業：本市負担率8%]				
管理方法	管理方法	老朽化対策として伸縮装置の交換を早期に実施できるよう滋賀県と調整すると共に、併せて定期点検（1回/5年）を適切に行い、予防保全的な管理に努める。				

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	・・・
対策費用(長寿命化)(百万円)										
対策費用(更新)(百万円)										
対策の内容・時期	下部工耐震工事	定期点検 下部工耐震工事					定期点検			

長寿命化計画による効果

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の長寿命化・安全性が確保できる。
○予算平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な補修が可能となる。

１．現地踏査記録

橋面	橋体
側面	橋脚
橋台支承	

左岸側橋台　伸縮装置	橋脚部　伸縮装置

（様式1）橋梁個別施設計画

施設名称	完成年度	管理主体	当該路線名 架橋河川(道路)名	造成事業	施設の場所	集落コード
曽根沼1号橋	昭和55年度(1980)	彦根市	排水路	広域農道湖東地区	彦根市石寺町	

道路橋示方書	昭和53年度版	橋の等級(設計荷重)	1等橋	特記事項	-

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	14.6m		幅員(車道幅員)	8.0m(6.5m)
	施設の構造	上部工型式	鋼単純H鋼桁(3主桁)　1径間			
			鋼製(使用鋼材)	塗装使用の有無	支承形式	落橋防止の有無
				有り	タイプA	無し
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	杭基礎
		橋脚工型式	-		海岸からの距離	-
	計画策定目的	広域農道湖東地区によって整備され、彦根市が管理している曽根沼1号橋は39年経過している。曽根沼1号橋は、昭和53年度版の道路橋示方書に準拠し設計されたものであるが、現在の耐震基準に満たしていないため、平成28年度採択の農村地域防災減災事業（湖東広域地区）で耐震化対策を予定。また、その他保全対策として、鋼橋の塗装および伸縮装置の入れ替えは平成29年度採択の農地整備事業（湖東彦根地区）で対応予定。				
調査結果概要	現地調査	本橋梁は平成26年に定期点検を行い、滋賀地区農道橋耐震調査計画業務により、橋梁診断が実施されている。また、平成28年度には湖東彦根地区保全対策整備計画策定業務において目視調査を行った結果、平成26年度時点から新たな変状・損傷は確認されなかった。 高欄(笠木付きガードレール）の塗装剥離、サビは補修済。				
	詳細調査(点検)	・目地から橋座への土砂流入あり ・鋼橋部分の塗装対策が必要 ・耐震化対策が必要				
	劣化原因(推定)	・耐用年数の経過によるものと推察される				
長寿命化対策概要	対策工法(案)	【老朽化対策】 ・伸縮目地の端部付近の補修(土砂流入防止対策) ・鋼橋部分の塗装対策 【耐震化対策】 ・拘束装置設置				
	対策時期(案)	【老朽化対策】 ・耐用年数の経過によ劣化であり、早急に更新する必要がある。 【耐震化対策】 ・平成28年度採択の農村地域防災減災事業（湖東広域地区）で実施予定。				
	対策費用(参考)	【老朽化対策】 ・目地部充填　72千円(税抜き、直工)　　・塗装　1,508千円(税抜き、直工) [県営事業：本市負担率25%] 【耐震化対策】 ・工事費　12,300千円　　・測量試験費　2,500千円 [県営事業：本市負担率8%]				
管理方法	管理方法	老朽化対策として伸縮装置の交換及び桁塗装を早期に実施すると共に、併せて定期点検（1回/5年）を適切に行い、予防保全的な管理に努める。				

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(長寿命化)(百万円)						12.3				
対策費用(更新)(百万円)						1.58				
対策の内容・時期	定期点検					定期点検・耐震工事・橋梁補修				

長寿命化計画による効果

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の長寿命化・安全性が確保できる。
○予算平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な補修が可能となる。

■橋梁全景写真

流水方向　←

上流から下流

◇橋台（右岸）

橋座幅　850

縁端距離　400

護岸天より桁下まで650

右岸上流支承（台座Conなし）

右岸中央支承　（下流側も同じ）

◇橋台（左岸）

橋座幅　850

左岸上流支承（台座Conなし）

左岸中央支承　（下流側も同じ）

◇橋体

上流桁　　塗装劣化

中央桁　　塗装劣化

下流桁　　塗装劣化

床版　　良好

NTT添架管（最下流）腐食

左岸側　　添架管支持金具が破損

◇橋面状態

左岸側伸縮装置

右岸伸縮装置

ほとんど劣化していないが、下記の部分から雨水が浸入して、橋座に土砂が堆積

（様式1）橋梁個別施設計画

施設名称	完成年度	管理主体	当該路線名 架橋河川(道路)名	造成事業	施設の場所	集落コード
北金田橋	平成13年度(2001)	彦根市	文禄川	稲村山地区	彦根市金田町	

道路橋示方書	平成8年度版	橋の等級(設計荷重)	B活荷重	特記事項	-

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.7m		幅員(車道幅員)	14.8m(5.5m)
	施設の構造	上部工型式	プレテンション中空床版橋(19主桁)　1径間			
			鋼製(使用鋼材)	塗装使用の有無	支承形式	落橋防止の有無
			-	-	タイプA	無し
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	杭基礎
		橋脚工型式	-		海岸からの距離	-
	計画策定目的	一般農道稲村山地区によって整備され、彦根市が管理している北金田橋は、18年経過している。北金田橋は、平成8年度版の道路橋示方書に準拠し設計されたものであるが、平成26年に滋賀県が実施した橋梁診断では耐震対策不要との判定であった。また、その他保全対策についても不要との結果であったが、経年劣化等を考慮し定期的な点検を行い、橋梁の長寿命化に取り組む。				
調査結果概要	現地調査	本橋梁は平成26年度に定期点検を行い、滋賀地区農道橋耐震調査計画業務その2により橋梁診断が実施されているが、どちらの調査においても変状・損傷は確認できなかった。				
	詳細調査(点検)	・特になし				
	劣化原因(推定)	ー				
長寿命化対策概要	対策工法(案)	【老朽化対策】 ー 【耐震化対策】 ー				
	対策時期(案)	【老朽化対策】 ー 【耐震化対策】 ー				
	対策費用(参考)	【老朽化対策】 ー 【耐震化対策】 ー				
管理方法	管理方法	定期点検（1回/5年）を適切に行い、予防保全的な管理に努める。				

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(長寿命化)(百万円)										
対策費用(更新)(百万円)										
対策の内容・時期	定期点検					定期点検				

長寿命化計画による効果

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の長寿命化・安全性が確保できる。
○予算平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な補修が可能となる。

■橋梁全景写真

流水方向　←　　手前A1

上流から下流

２．橋梁状況

橋体は健全な状態である。間詰めコンクリートからの漏水・遊離石灰等はみられない。特に問題なし。

◇橋台（A1）

(A2) 橋座幅　850（図面より）

◇伸縮装置（A1）　良好

(A2)　良好

【参考様式-5】個別施設計画(橋梁)

施設名称	完成年度	管理主体	当該路線名 架橋河川(道路)名	造成事業	施設の場所	集落コード
文禄川橋	昭和48年度(1973)	彦根市	文禄川	広域農道湖東地区	彦根市下西川町	

道路橋示方書	不明	橋の等級(設計荷重)	1等橋	特記事項	-

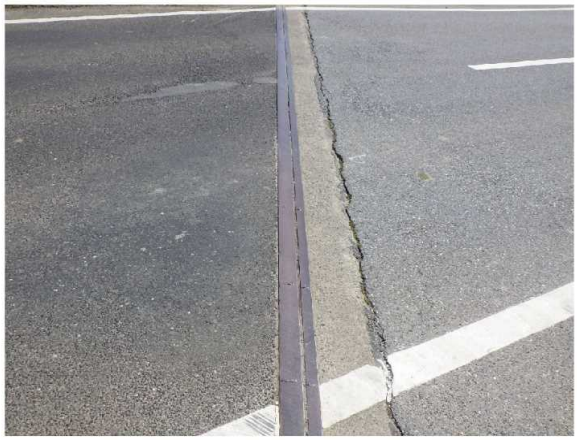
施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.6m		幅員(車道幅員)	8.0m(6.5m)
	施設の構造	上部工型式	鋼単純H鋼桁(3主桁)　1径間			
			鋼製(使用鋼材)	塗装使用の有無	支承形式	落橋防止の有無
				有り	タイプA	無し
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	杭基礎
		橋脚工型式	-		海岸からの距離	-
	計画策定目的	広域農道湖東地区によって整備され、彦根市が管理している文禄川橋は40年以上経過している。文禄川橋は、道路橋示方書年次が不明であり、現在の耐震基準に満たしていないため、平成28年度採択の農村地域防災減災事業（湖東広域地区）で耐震化対策を予定。また、その他保全対策として、鋼橋の塗装および伸縮装置の入れ替えは平成29年度採択の農地整備事業（湖東彦根地区）で対応予定。				
調査結果概要	現地調査	本橋梁は、滋賀地区農道橋耐震調査計画業務により、平成25年度に橋梁診断が実施されている。また、平成28年度は湖東彦根地区保全対策整備計画策定業務、平成29年度、令和4年度には定期点検において目視調査を行った結果、平成25年度時点から新たな変状・損傷は確認されなかった。				
	詳細調査(点検)	・伸縮装置の劣化による交換が必要 ・鋼橋部分の塗装対策が必要 ・耐震化対策が必要			判定区分	
	劣化原因(推定)	・耐用年数の経過によるものと推察される				
長寿命化対策概要	対策工法(案)	【老朽化対策】 ・伸縮装置の劣化による交換が必要 ・鋼橋部分の塗装対策が必要 【耐震化対策】 ・拘束装置設置				
	対策時期(案)	【老朽化対策】 ・耐用年数の経過による劣化であり、早急に更新する必要がある。 【耐震化対策】 ・平成28年度採択の農村地域防災減災事業（湖東広域地区）で実施予定。				
	対策費用(参考)	【老朽化対策】 ・伸縮装置の交換　1,478千円(税抜き、直工)　・塗装　1,657千円(税抜き、直工) [県営事業：本市負担率25%] 【耐震化対策】 ・工事費　6,500千円　　・測量試験費　2,500千円 [県営事業：本市負担額率8%]				
管理方法	管理方法	老朽化対策として伸縮装置の交換及び桁塗装を早期に実施すると共に、併せて定期点検（1回/5年）を適切に行い、予防保全的な管理に努める。				

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	・・・
対策費用(長寿命化)(百万円)										
対策費用(更新)(百万円)										
対策の内容・時期	定期点検					定期点検				

長寿命化計画による効果

○適切な補修を計画的に実施することで、橋梁の長寿命化・安全性が確保できる。
○予算平準化により、厳しい予算制約の中で計画的な補修が可能となる。

１．現地踏査記録

<table>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>橋面</td><td>橋体</td></tr>
<tr><td>  </td><td> </td></tr>
<tr><td>伸縮装置</td><td>支承</td></tr>
<tr><td> </td><td>
</td></tr>
<tr><td>橋座(90)</td><td>橋名板</td></tr>
</table>